

2025 年 12 月 12 日

2025 年 12 月 8 日青森県東方沖の地震における地盤被害例（速報）

八戸工業高等専門学校 産業システム工学科環境都市・建築デザインコース

清原 雄康

2025 年 12 月 8 日 23 時 15 分頃、青森県東方沖を震源とするマグニチュード $M_j7.5 \cdot M_w7.4$ （最大震度 6 強）の大きな地震（以降「2025 年青森県東方沖の地震」とします）が発生しました。ニュース、新聞等で報じられた地盤構造物に関する被害 2 件の状況について以下に報告します。

1. 青森県東北町乙供国道 394 号線での道路盛土被害状況（撮影日 2025/12/9）

場所は青森県上北郡東北町乙供の国道 394 号線（北緯 40.774113, 東経 141.209644）付近です。図 1 に広域地図、写真 1 に上空写真を示します。

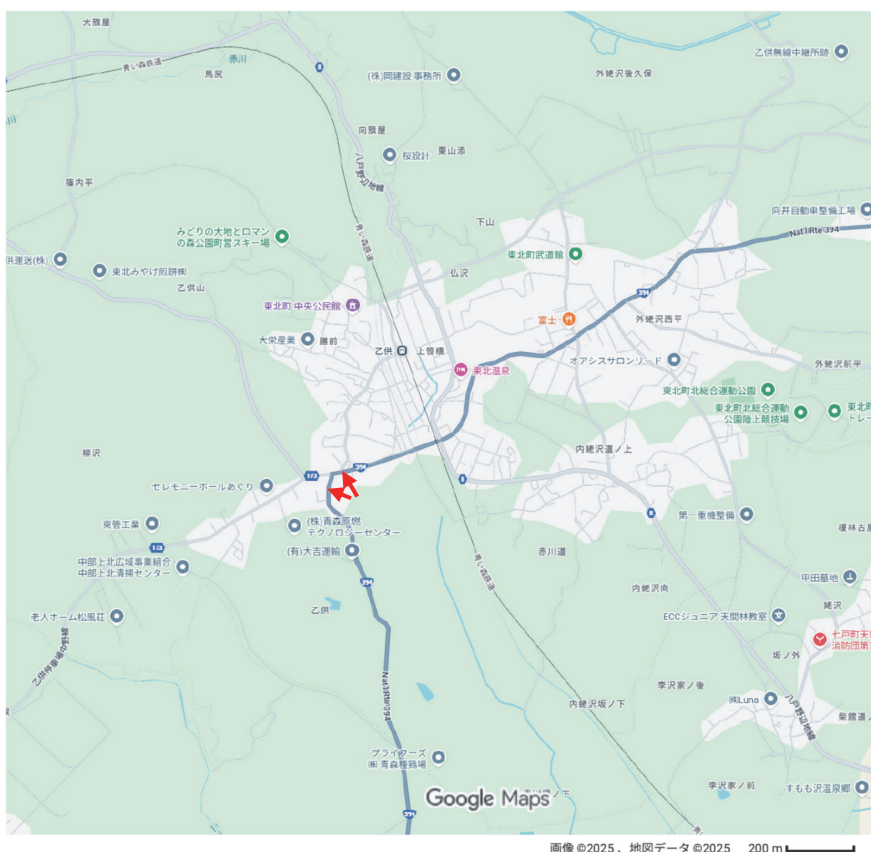


図 1 乙供での被害位置図（Google Maps より）



画像 ©2025 Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2025 20 m

写真1 乙供での被害位置詳細写真（Google Maps より）

1.1 写真1中の①箇所での被害状況

写真1からも分かるように道路は谷地形に盛土して（盛土部を地山にすりつけて）造成されています。写真2に被害状況、周辺地形を示します。ニュースでも報じられました陥没にはまった車は、調査時には撤去されていました。



写真2 被害現場 乙供駅方面に向かって撮影

写真3に崩壊土砂を示します。山砂，ローム砂のように見えます。写真4に崩壊した道路路盤の奥の崩壊面です。グレーの地層，その上下は十和田・八甲田山系由来のローム土と思われます。土質の詳細は把握出来ておりません。



写真3 崩壊土砂



写真4 崩壊路盤下（地山側）の状況

写真5に崩壊箇所を囲む外側で見られた道路の亀裂を示します。写真6に道路沿いの民家での管路の破断の修復状況を示します。



写真5 崩壊箇所外側の周囲にも生じた亀裂



写真6 道路宅地側での管路の修復状況

1.2 写真 1 中の②箇所での被害状況

周辺踏査をしていたところ、写真 1 中の②箇所(同じく国道 394 号)でも道路下での崩壊が発見され、直ちに管理者に連絡しました。



写真 7 道路路盤下の崩壊

2. 青森県八戸市河原木八戸港フェリーターミナルでの液状化状況（撮影日 2025/12/10）

場所は青森県八戸市河原木海岸（北緯 40.548595, 東経 141.507075）付近，八戸港フェリーターミナル（以下 FT）東側です．図 2 に広域地図，写真 8 に上空写真を示します．



図2 八戸 FT での被害位置図（Google Maps より）



写真 8 八戸 FT での被害位置詳細写真（Google Maps より）

写真 9 から写真 14 に被害状況の写真を示します。



写真 9 液状化被害箇所全景



写真 10 目地からの噴砂状況（その 1）

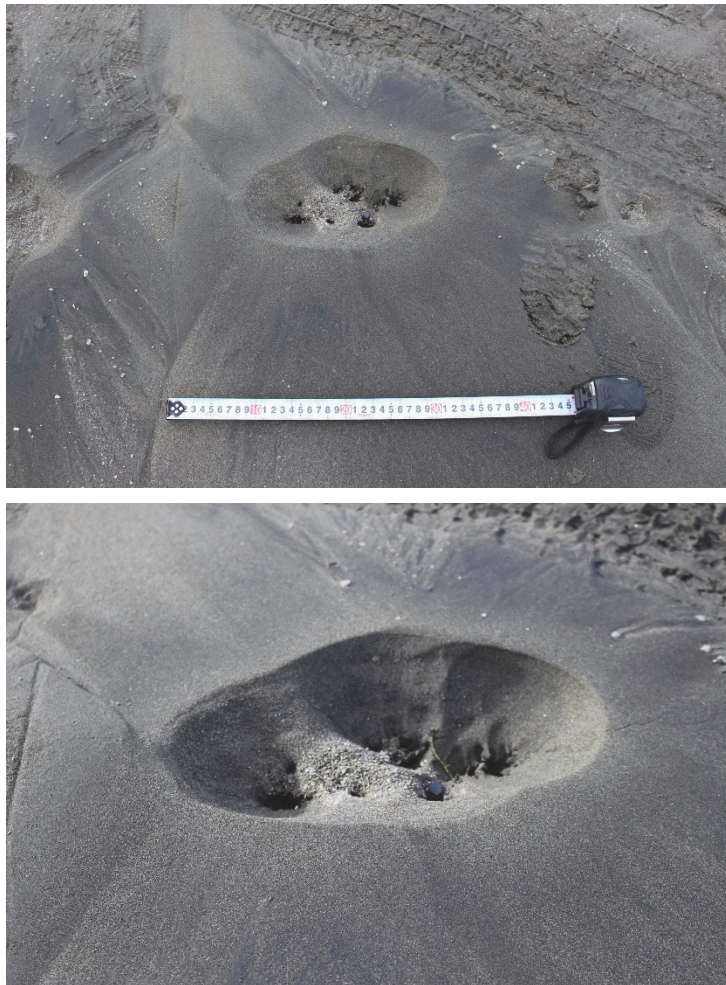


写真 11 目地からの噴砂状況（その 2）



写真 12 集水枡付近からの噴砂状況

写真 13 に液状化した砂が流れた後を示します。白い砂粒にはしらす砂が含まれています。



写真 13 液状化した砂の流れた痕跡



写真 14 目地部の段差

以上です.